

科目名 Subject	コミュニケーション心理学 Communication Phycology		教員名	山口 博嗣	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	1単位
必修／選択	選択	授業形態	講義	時間	30時間
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
科目の概要	「コミュニケーション心理学」を学ぶのは何のためか？ それは、現代社会をよりよく、より豊かに、よりしたたかに生き抜くためである。現代社会の特徴は何か？ 第一に、物事が速いスピードで動き、根本的な変化が起こる。第二に、A I（人口知能）の急速な進歩で、不可能が可能になり、人間の仕事のある部分がA Iに取って代わられる。第三に、日本では同質社会から多文化共生社会への転換が不可避になる。今、私たちには何が必要だろうか？ どんな職業につくにせよ、実践的なコミュニケーション能力を身に着け、状況に応じてその能力を発揮する必要性は極めて高い。仕事に限らず、家庭やコミュニティでもコミュニケーション能力は必要である。この科目では、コミュニケーション能力の前提となる人間理解を可能とするために、最新の心理学も学ぶ。多文化共生社会に備えて「やさしい日本語」も簡単に学習する。学生たちの将来に備えて、リーダーシップ論にも触れる。「生きるほどに美しく」という人生を可能とするための学生参加型の授業である。				
授業の目標	(１)「知るって楽しい」「考えるって面白い」と感じられるようになる (２)「もっと知りたい」「自分の頭で考えたい」と思えるようになる (３)心理学を通して人間理解が深まっている (４)実践的なコミュニケーション能力の必要性を理解し、その能力を高めている (５)自分の意見を述べ、他人の意見も理解し共感できるようになる (６)現代社会で必要なコミュニケーション能力を発揮できる 多文化共生社会に必要な異文化コミュニケーション能力を発揮できる				
時間外学習 (予習・復習)	前回の授業で学んだこと、自分が興味を持ったことについて簡潔にまとめ、今回の授業で学びたいことや質問等を書いた小レポートを毎回、授業開始前に提出する（前回の授業で学んだことに関連して自分で調べたことを書いてもよい）。自分の頭で考え、自分の言葉で書く能力を伸ばす重要な機会。				
教科書・教材	教科書	必要に応じて、いろいろなテキストを使う			
	教材	必要に応じて、いろいろな教材を使う			
	使用設備・備品	パソコン、プロジェクターなど			
	参考文献	適宜紹介します			
評価方法	・授業への貢献度（グループ討議への参加、意見発表、質問等）⇒ ３０％ ・時間外学習による小レポート提出 ⇒ ２０％ ・最終レポート（「コミュニケーション心理学」をどう理解したか。それを踏まえて自分は何をするつもりか」のレポートを第１５回の授業時間に作成）⇒ ２０％ ・定期試験 ⇒ ３０％				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	レポートに対して、コメントを返します。				
履修上の注意	詳しいレジュメは用意しません。講義を聞きながらメモ・ノートを取って下さい。社会に出ると、取引先、お客様等でレジュメを用意してくれる人などまずいません。相手の話を聞いて、メモを取り、その情報を上司や同僚と共有するためにレポートを書くスキルは必ず必要になります。				
本科目履修と関連する資格	資格名	特になし。			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	【オウエン・フロム】 授業の概要・進め方・ルール・評価法の説明	科目の概要を理解し興味を持ち、授業のルール等を理解し説明できる	授業を踏まえ、内容理解、自分として学んだことをどう活かすかについてのレポートを毎回提出させる
第2回	【心理学】欲求5段階説、ジョハリの窓 【コミュニケーション（以下、コミュ）】相手を褒める	左記の授業内容から人間理解を深め、コミュニケーション能力を具体的に向上させる	授業を踏まえ、内容理解、自分として学んだことをどう活かすかについてのレポートを毎回提出させる
第3回	【心理学】バーナム効果、セルフ・ハンディキャッピング 【コミュ】上手に質問する	左記の授業内容から人間理解を深め、コミュニケーション能力を具体的に向上させる	授業を踏まえ、内容理解、自分として学んだことをどう活かすかについてのレポートを毎回提出させる
第4回	【心理学】心理的リアクタンス、認知的不協和 【コミュ】謝る	左記の授業内容から人間理解を深め、コミュニケーション能力を具体的に向上させる	授業を踏まえ、内容理解、自分として学んだことをどう活かすかについてのレポートを毎回提出させる
第5回	【心理学】防衛機制、ピーターパン症候群 【コミュ】誘う・上手に断る	左記の授業内容から人間理解を深め、コミュニケーション能力を具体的に向上させる	授業を踏まえ、内容理解、自分として学んだことをどう活かすかについてのレポートを毎回提出させる
第6回	【心理学】群集心理、フォールスメモリー 【コミュ】苦情や文句を言う	左記の授業内容から人間理解を深め、コミュニケーション能力を具体的に向上させる	授業を踏まえ、内容理解、自分として学んだことをどう活かすかについてのレポートを毎回提出させる
第7回	【心理学】マッチング仮説、公的自己意識 【コミュ】自分を語る	左記の授業内容から人間理解を深め、コミュニケーション能力を具体的に向上させる	授業を踏まえ、内容理解、自分として学んだことをどう活かすかについてのレポートを毎回提出させる
第8回	【心理学】好意の返報性、自己顕示の返報性 【コミュ】説得する	左記の授業内容から人間理解を深め、コミュニケーション能力を具体的に向上させる	授業を踏まえ、内容理解、自分として学んだことをどう活かすかについてのレポートを毎回提出させる
第9回	【心理学】ミラーリング、単純接触の原理 【コミュ】慰める・元気づける	左記の授業内容から人間理解を深め、コミュニケーション能力を具体的に向上させる	授業を踏まえ、内容理解、自分として学んだことをどう活かすかについてのレポートを毎回提出させる
第10回	【心理学】アイコンタクト、カタストロフィ理論 【コミュ】相手の警戒心を解く	左記の授業内容から人間理解を深め、コミュニケーション能力を具体的に向上させる	授業を踏まえ、内容理解、自分として学んだことをどう活かすかについてのレポートを毎回提出させる
第11回	【心理学】対人恐怖症、カチッサー効果 【コミュ】相手のやる気を引き出す	左記の授業内容から人間理解を深め、コミュニケーション能力を具体的に向上させる	授業を踏まえ、内容理解、自分として学んだことをどう活かすかについてのレポートを毎回提出させる
第12回	【心理学】フィーリング・グッド効果、フット・イン・ザ・ドア 【コミュ】違う意見を尊重する	左記の授業内容から人間理解を深め、コミュニケーション能力を具体的に向上させる	授業を踏まえ、内容理解、自分として学んだことをどう活かすかについてのレポートを毎回提出させる
第13回	【心理学】社会的勢力、ピグマリオン効果 【コミュ】「やさしい日本語」	左記の授業内容から人間理解を深め、コミュニケーション能力を具体的に向上させる	授業を踏まえ、内容理解、自分として学んだことをどう活かすかについてのレポートを毎回提出させる
第14回	【心理学】ランチョン・テクニック、ハロー効果 【コミュ】リーダーとして話す	左記の授業内容から人間理解を深め、コミュニケーション能力を具体的に向上させる	授業を踏まえ、内容理解、自分として学んだことをどう活かすかについてのレポートを毎回提出させる
第15回	【まとめ】「コミュニケーション心理学」で学んだことを活かして、どう生きていくか？	コミュニケーション心理学を自分の頭で総合的に理解し、自分の生き方に活かす方法を見出す	授業を踏まえ、内容理解、自分として学んだことをどう活かすかについてのレポートを毎回提出させる